

(第Ⅱ部)
大学における研究活動の
組織化・拠点化と研究開発評価

－組織化・拠点化における評価システムのあり方－

文部科学省 科学技術・学術政策局
研究開発評価の在り方に係る特筆課題等への取組状況調査検討会
栗本 英和 (名古屋大学 教養教育院)

「文部科学省における研究及び開発に関する評価指針」(抜粋)

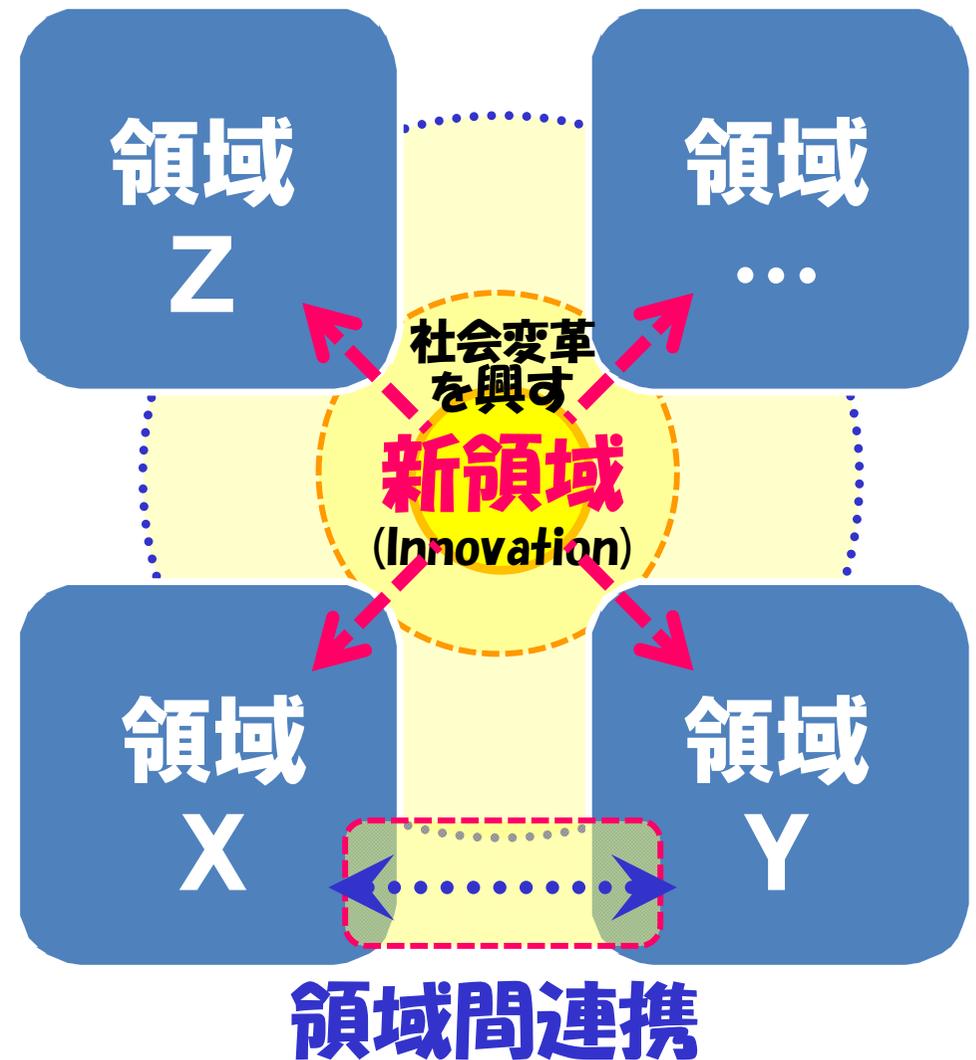
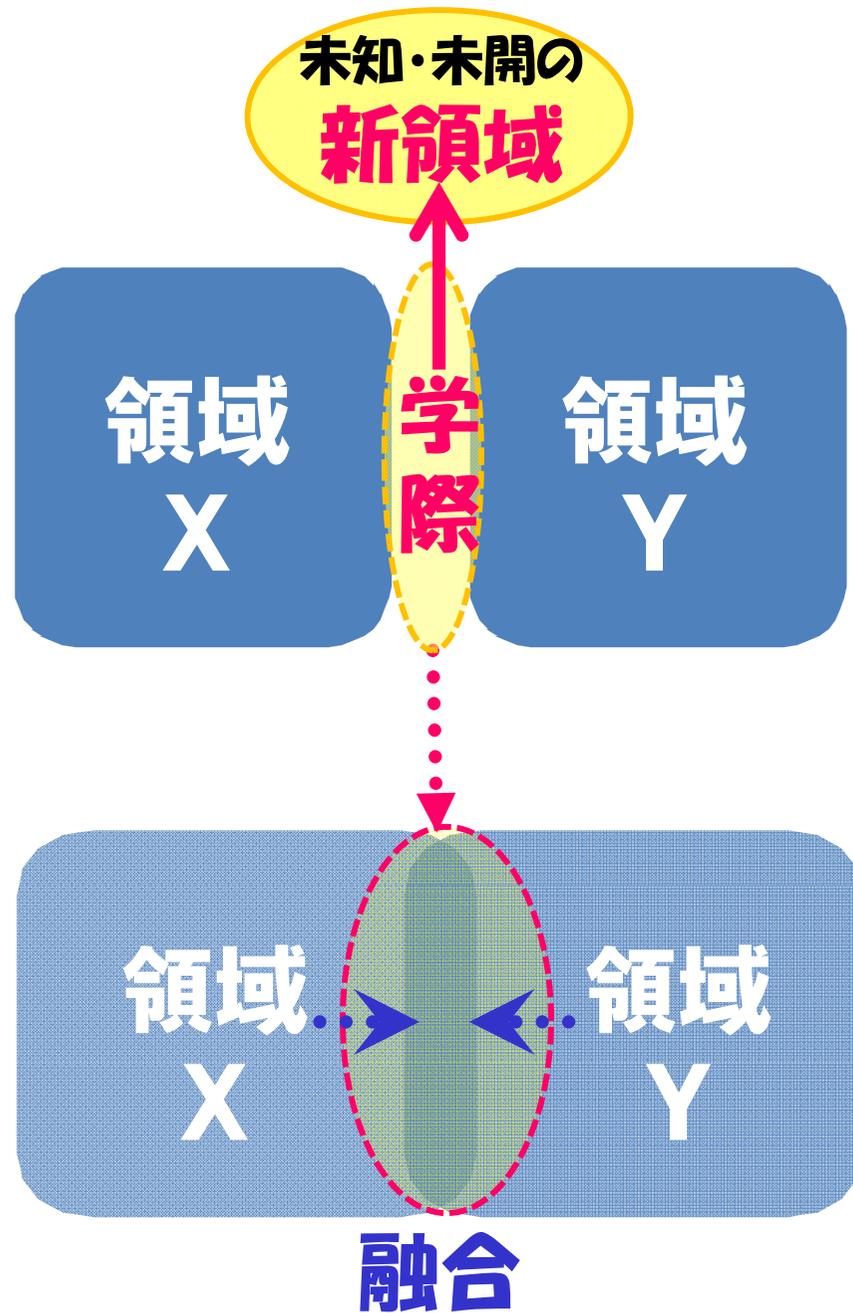
文部科学大臣決定（平成14年06月20日，同29年04月01日最終改定）

本指針は，完璧な評価システムを構築すること自体が目的ではない。研究開発は，未知を知に転換していく高度な専門性に立脚した知的生産活動であり，その見通しや価値の判断は，専門家の洞察に本来的に依存するものであることに留意しなければならない。このため，評価に関して責任を持つ者は，**評価は無謬ではない**という謙虚な立場に立ち，その完成度を高める努力を怠ってはならず、実施した**評価に対する意見に耳を傾けつつ評価方法等を常に見直していく姿勢を保持**することが重要である。・・・

社会や時代が抱える喫緊の諸課題等による特筆課題

- ① **科学技術イノベーション創出，課題解決のためのシステムの推進**
- ② **挑戦的（Challenging）な研究，学際・融合領域・領域間連携研究等の推進**
- ③ **次代を担う若手研究者の育成・支援の推進**
- ④ **評価の形式化・形骸化、評価負担増大に対する改善 →効率化？**

挑戦的な研究開発における新領域の概念整理（私見）



特筆課題に対する取組の概要

前回：成長の原動力としての、**新しい視点と柔軟な発想を生み出す若手研究**

今回：外部資金獲得，引用数，TopXX%割合，国際共著数等のEvidenceに基づいた
機関としての、研究マネジメントによるクラスタ形成や新領域開拓

👉 **信州大学 ～強み・特色ある分野の選択と集中**

- ・先鋭領域融合研究群と大学院改組，優れた研究者の認定
- ・研究力の底上げにつながる研究支援人財（URA）の養成

👉 **筑波大学 ～教・教分離による柔軟な組織運営**

- ・小さく生んで大きく育てる，個の成長-グループ化-組織化・拠点化
- ・評価システムによる研究クラスタの級別・機能別体系化
- ・研究活動の循環エコシステム化の構築

👉 **東京工業大学 ～社会連携によるイノベーション創出**

- ・研究活動の成長と循環（ユニット，センター，研究所，次のユニット）
- ・非競争領域から競争領域への展開から，協働研究拠点の形成
- ・未来社会デザインとリベラル・アーツ教育による未来創造

パネル・ディスカッションの論点整理

- **研究クラスタの成長による組織化・拠点化における留意点？**
- **研究開発における評価システムの功罪？**
 - 例， 重要度や優先度を判断する場面**
 - 例， 新陳代謝を確保する組織再編の場面**